

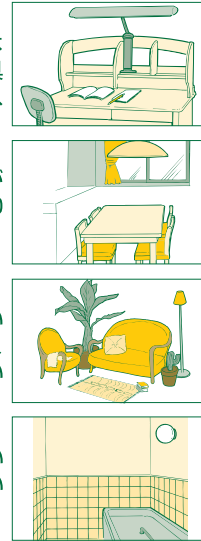
電球の種類と特徴

種類	特徴
一般球 ボール球	黄色っぽく暖かな感じになる光で、ランプシェードに入れて使います。白色タイプは柔らかい光が楽しめます。また透明タイプはキラキラとした感じがありますので、透明に近いシェードに入れてその光を楽しんでください。
レフランプ	一方向に光を集めるタイプで、投光用やスポットライトに適したビームランプ電球です。電球の内面が反射鏡になるように加工されているので、照明機具に反射用の笠がなくても明るい照明になります。
なつめ球	常夜灯や補助灯、灯明、ぼんぼり用などに使います。
シャンデリア球	小型の電気スタンドから大きなシャンデリア、ミニランプまで幅広く使われている装飾用の電球です。
蛍光灯	光の効率が良く、発熱量も少なく、連続で5000時間以上使える寿命の長い電球で、白色、昼光色、電球色等があります。
コンパクト 蛍光灯	細い蛍光管を曲げて小さくしたもので、デスクスタンドやダウンライトなどに使われています。
電球型 蛍光灯	白熱灯のソケットに差しこんで使えるようにした蛍光灯で、白熱電球に比べて電気代と発熱量が、約1/3、寿命は約6倍と長持ちしますが、一灯当たりでは約7~10倍ぐらいの価格なのが難点です。
ハロゲン ランプ	店舗のスポット的な照明によく使われている電球で、光源が点に近く、光が一点に集中するので、メリハリのある照明にできます。しかし非常に高温になるので、専用の器具が必要です。

ここがポイント!

必要な明るさは場所によって違います

- 学習机
本を読むときは60W以上、字を書くときは100W以上の明るさにししましょう。照明機具はちづきの少ないインバーター照明がベストです。
- 台所
100W以上で、食欲をそそる白熱灯の方が効果的です。照明の位置はテーブルから60~80cmぐらいの高さがベストです。
- リビング
明るすぎないのがポイント。白熱灯なら100Wで4灯、蛍光灯なら合計100Wぐらいがちょうどいい明るさです。テレビも目を悪くしないために、部屋を明るくして見た方がいいでしょう。
- トイレ・バスルーム
トイレは60Wぐらい、バスルームは肌がきれいに見える60Wぐらいのどちらも白熱灯がよいでしょう。



サービスのご案内



●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

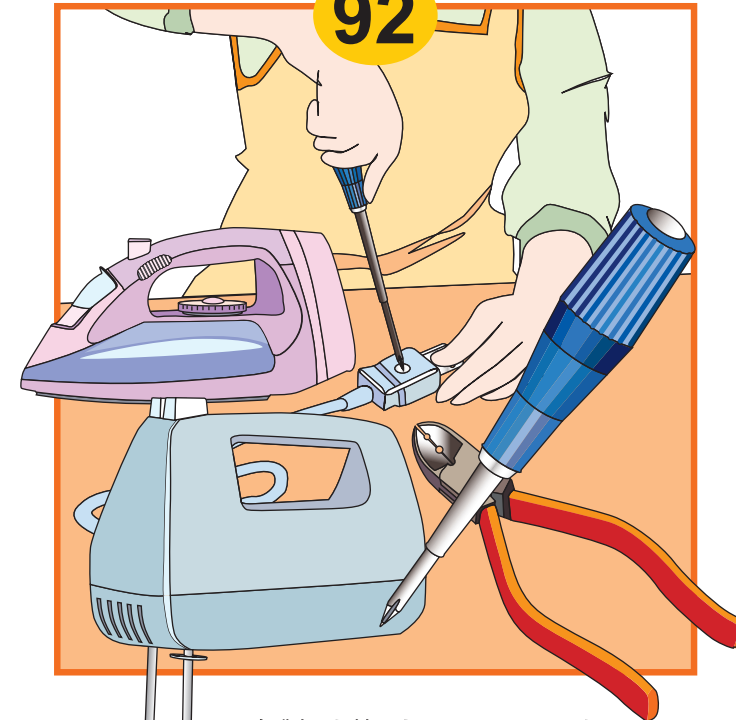
TEL.027-345-1111(大代表)

プラグ・コードの修理

自分でやってみよう!

セキチュー
How to D.I.Y

92



電気製品を使おうとしてスイッチを入れても動かない、プラグを抜こうとしたら熱い、そんなときはまずコンセントにつないでいるプラグを点検してください。プラグの内部で断線していることが多く、電気が通じていても断線しかかっている場合があります。

大がかりな配線は電気工事の資格を持った人がやらなくてはいいませんが、プラグや断線の補修は誰にでもできますので、業者に頼まないで自分でやってみてください。

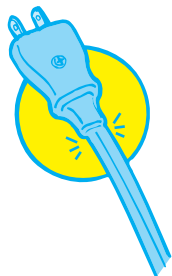
Do it Yourself & Save

プラグ・コードの修理

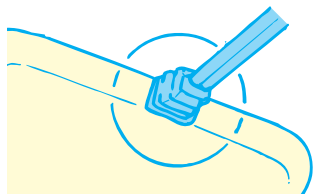
スイッチを入れても電気が流れないときは、まずプラグのゆるみとコードの断線を考えましょう。

断線の多いところ

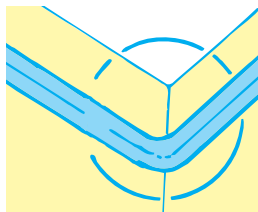
●プラグとコードの接続部分



●機具とコードの接続部分



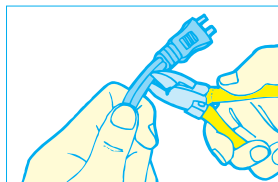
●コードの折れ曲がった部分



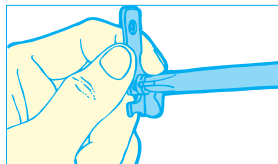
プラグの修理方法

最近の電気器具はほとんどプラグとコードが一体化されているモールド式プラグが使われています。このタイプはプラグ内部のネジのゆるみによるコードの抜けやショートなどはありませんが、プラグとコードの接続部分が、プラグを何回も抜き差ししたり、コードが折れ曲がったりしてコードの中の芯が断線することがよくあります。この場合は新しいプラグを用意して次のように修理しましょう。

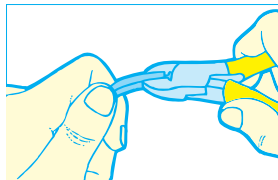
①断線しているコードを切り取ります。



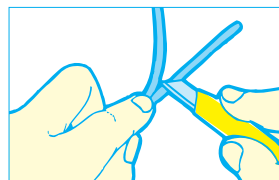
②新しいプラグのビスをドライバーではなく、中にある差しこみ金具を取り出して、金具についているビスをゆるめてください。



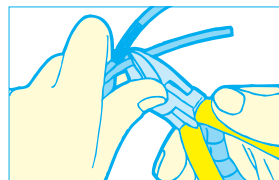
③切ったコードの先端にニッパーで切りこみを入れ、8cmぐらいコードをふたつに裂いておきます。



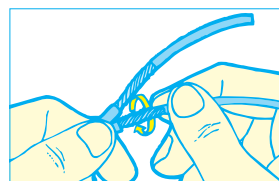
④裂いたコードの先端から5cmぐらいのところにカッターで切りこみを入れます。このときに中の芯を切らないように注意してください。



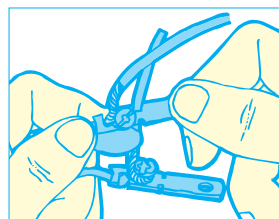
⑤切りこみ部分をニッパーではさみ、親指でニッパーを押し、ビニールを3cmぐらいむきます。



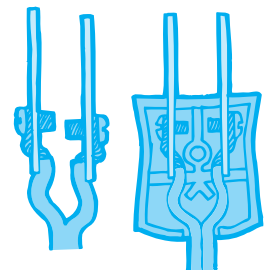
⑥先端のビニールを指で回し、芯がぼろぼろにならないようしながら、時計のネジを巻く方向によくねじってください。



⑦差しこみ金具のビスに右巻き芯を巻きつけてから、切りこみ部分にコードを引っかけ、たるまないようにします。

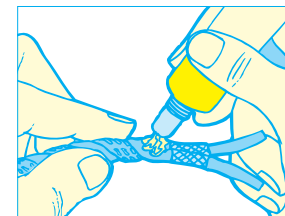
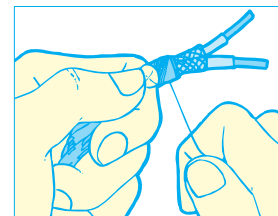


⑧ドライバーでビスをしっかり止め、芯の余った部分や、はみ出してしまった部分をニッパーで切り取ります。最後にプラグ本体のコードと金具をセットしてプラグのふたをしめ、ビスをしっかりネジ止めしてください。



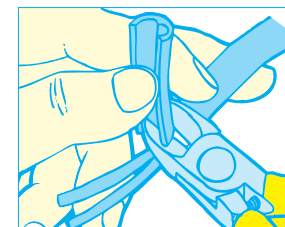
袋打ちコードの場合

電気コタツやアイロンなどに使われている、表面が編んだ布でおおわれているコードを袋打ちコードといいます。このコードの断線の場合は、プラグの取り付けはビニールコードとほとんど同じですが、布の部分の切ったところをほつれないように、糸でイラストのように縛るか、木工用接着剤で固めておいてください。



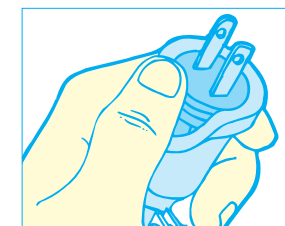
キャブタイヤコードの場合

掃除機や電動工具などに使われているコードで、折曲げたり固いものに当たったりしても大丈夫なように、ビニールのコードをさらに厚いビニールでおおっているコードです。プラグの交換方法がほとんど同じですが、表面の厚いビニールやゴムを切り取るときに内部の線のビニールを傷つけないように注意してください。カッターよりニッパーで切り取るほうが傷つきにくいと思います。またコードが太いので、それに合ったプラグを準備することも大切です。



防水型プラグやコネクタの場合

常に屋外で使う電気製品に使われているもので、厚いゴムでおおわれています。



①コードを締めつけている金具のビスをゆるめてから、まわりのゴムをぐっと広げてめくり、ゴムのカバーをはずします。

②中はキャブタイヤコードになっていますので、キャブタイヤコードのプラグを修理する方法で直します。

③ゴムカバーを通してからコードを差しこみ金具につなぐようにしてください。防水型プラグには差しこみ金具が3本あるものがあります。この場合丸棒になっているのはアース端子なので、はずしたときに色を確認しておき、同じ色にコードをつなぐようにしましょう。

